

ながとじん 長門人

長門は落ち着きます

—熱血・新鮮力—



後根 祐子 さん

うしろね ゆうこ / 昭和56年12月24日生 / 鳥越2区 / 長門天津農業協同組合本所

※仕事は 今年4月に農協に入り、現在窓口業務を担当しています。失敗ばかりしていませんが、みんなやさしい人ばかりなので、楽しく仕事ができます。

※趣味は これといってありませんが、職場のバレーボールチームに入っています。それからネコを飼っているのですが、私にはちっともなつかない生意気なネコです。兄には良くなつているのですが…

※結婚は 30歳まではいいです。しぶい人がタイプですね。

※長門市は 長門の雰囲気は私に合っているみたいで、とても落ち着きますね。今度、総合公園のローラー滑り台に挑

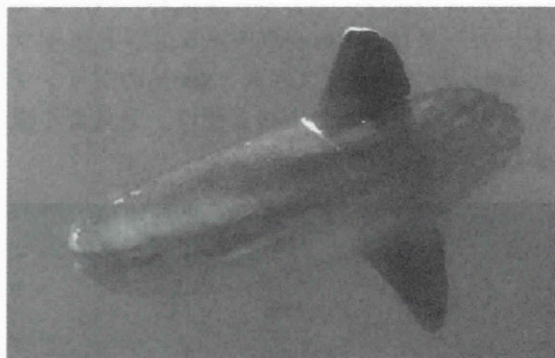
戦したいです。一度、友達と行ったのですが、怖くて滑れませんでした。

※自由に一言 ホント、クビに
ならないようにがんばります。
(笑) よろしくお願いします。



マンボウ出現

—ちょっと小耳に—



住所 仙崎紫津浦タイ・ハマチ観覧場

マンボウ / フグ目マンボウ科 / 世界中の温・熱帯海域に分布 / 大変神経質で飼育困難であるが、反面よくなる魚 / 最高2993日の飼育記録がある

仙崎紫津浦のタイ・ハマチ観覧場(仙崎漁業協同組合)に、このたび、マンボウがお目見えし、観光客や市内の子どもたちに喜ばれています。体長約1mのマンボウは、青海島の沖に設置してある大敷網(大比日・中村健二さん所有)に入り込んだものです。

年に2、3匹は入るとのこと、今まで、海に放していました、珍しいのと、みんなに見ていただければとの思いから、今回タイ・ハマチ観覧場に持ち込んだとのこと。網で仕切った釣り堀の中で、タイやブリ、その他色々な魚達と、仲良く泳いでいました。このマンボウ1日の内でわずらかしかな姿を見せないそう

で、ひと目見ようと、多くの方が今か今かと待ちかまえているとのことでした。仙崎漁協観光課長補佐の泉さんは、「仕切網が大きいのと、海が深いので、なかなか見つける事が困難ですが、時には海面近くで泳ぐ事があるので、是非おいでください」と話しておられました。



▲観覧場で泳ぐマンボウ